



# 福山赤坂ロータリークラブ週報

第420回例会

2005年9月20日(火)

## 超我の奉仕

2005～2006年度 国際ロータリー会長 カール・ヴィルヘルム・ステンハマー

●会長 菅 雪雄 ●副会長 門田一治

●幹事 前田真治 ●会計 藤原美則

●SAA 今井尚正 ●副幹事 佐藤俊之

創立 1996.10.8 承認 1996.10.23

例会場 福山市赤坂町赤坂 1276

事務所 福山市赤坂町赤坂 1276

TEL (084)920-4141

FAX (084)920-4140

ホームページ <http://www.fa-rc.jp/>

E-mail [fa-rc@aurora.ocn.ne.jp](mailto:fa-rc@aurora.ocn.ne.jp)

例会日 毎週火曜日 12:30～13:30

### ◆会長報告

今日は月見夜間例会ですが、月見について話します、よく歌われているのが「月々に 月見る月はおおけれど、月見る月はこの月の月」その他芭蕉の句で「名月や池をめぐりて夜もすがら」小林一茶の「名月を取ってくれろと泣く子かな」古来日本人と月との結びつきは大変深いものがあります。暦で9月15日がお月見とされています。昔の月見は9月18日十五夜、10月5日十三夜とされておりました。満月を見るには9月頃が一番空気もきれいで、大気が澄んだ状態、又季節的にも過ごしやすい時期だからです。月見の由来は満月に対するお祝いはもともと農民が古くから行事の一環としてこの頃の収穫物である、里芋や豆、栗をお供えして月の神に感謝したと言い伝えがあります。十五夜を「芋名月」十三夜を「豆名月」「栗名月」とも言われています。そして、ススキの穂とお月見団子を並べ今日のような形が出来た。古くは初穂を供え、月の神様と合食するという気持ちが現在の団子となったそうです。今夜は貴族になった気持ちで酒を酌み交わして中秋の名月の宴を楽しみましょう。

### ◆幹事報告

・国際ロータリー2004年国際大会（大阪）記録誌

永富ガバナーより カトリーナ・ハリケーン災害救済募金について

#### (例会変更)

府中 RC 10月4日(火) →10月1日(土) 8:00～

新市小学校グラウンド 第3回府中ロータリークラブ旗争奪少年野球大会

### ◆出席報告

○会員数 32名 ○出席率 76.67

欠席者 7名 池野さん 赤坂さん 伊藤さん 麦谷さん 西川さん

角田(英)さん 真田さん

○前々回の補正出席 9月6日休会

### ◆スマイルBOX

創業創立祝 赤坂英一さん 福山天使教会 昭和23年9月1日

### ◆懇親会

会長挨拶

今夜は親睦委員気合の計らいで月見夜間例会が開かれること喜んでおりますと友にありがとう御座います。私がいつも言っております、親睦なくして奉仕はなしと言われております。私も奉仕も親睦を大いにやるべきだと思います。今日は親睦を大いに深めていただきゆっくり楽しんでいただきたいと思います。



- ◆次回例会    10月4日（火）創立記念家族例会    かめ八    18時30分～  
10月11日（火）職業奉仕月間